

会報

No. 4

1979年11月
日本分子生物学会
事務局発行

◆第2回日本分子生物学会年会のお知らせ

年会プログラムが印刷できましたので、本年度会費既納の方々へお届けいたします。

なお、年会についてのお問い合わせ、ご連絡は下記にお願い致します。

〒812 福岡市東区箱崎

九州大学理学部生物学教室

関口 睦夫

電話 092-641-1101 (内線 4285)

◆選考委員の選出について

評議員の互選により、下記の方々に選考委員をお願い致しました(7月17日)。選考委員会には学会名による推薦などに関する選考をお願い致します。

三 浦 謹一郎 (得票順)

小 関 治 男

上 代 淑 人

村 松 正 実

高 浪 満

大 沢 省 三

◆山田科学振興財団研究援助候補者の推薦

山田科学振興財団の依頼により、本学会の代表者が上記候補者の推薦者となりましたことは同財団より研究者各位にご連絡があった通りであります。本年度は下記3件を推薦いたしました。

(A)

- 物理化学的变化を受けたDNAに対応する細胞反応(SOS反応)の分子生物学的研究

東京大学応用微生物研究所 大石道夫

○細胞分裂の分子集合体レベルの研究

京都大学理学部

柳田充弘

(B)

○ヒト・プロインシュリンの人工遺伝子に関する研究

慶応義塾大学医学部

広瀬忠明

◆欧文誌発行についてアンケートのお願い

分子生物学会として欧文誌を発行するかどうか、発行するとしたらどのようなものにするかが懸案になっております。

経過：分子生物学シンポジウム開催時には、発表演題の一部がProceedingとしてまとめられ、シンポジウム登録者および国外研究者に配布されていきました。分子生物学会創設にあたって、設立準備委員会では、欧文報告集を発行するかどうかを検討することになり、三浦謹一郎、高浪満、内田久雄の三氏が委員に委嘱されました。(会報№1参照)。

検討委員会としては、欧文誌を発行するのならば、年会報告の要旨集ではなく、新たにeditorial board, referee制度をしっかりと決めて、国際的にも評価の高い欧文誌を目指すべきであるとのことでした。しかしながら欧文誌を定期的に刊行するためには、財源的にも人的にも決して容易ではなく、委員会として結論をおろすにはいたりませんでした。

本年三月新評議員が決定し、第一回の評議員会が開かれその席上でも欧文誌をどうするかが議題になりましたが、積極的、消極的、否定的様々の意見が出され、学会設立も間もないことであり、もうすこし時間をかけて決めるべきではないかとの意見が多かったようです。

アンケートのお願い：編集幹事としてこの問題に取りくむことになったわけですが、旧検討委員会メンバーとも相談の結果、会員の皆様のご意見を伺うべく、欧文誌発行についてのアンケートをお願いすることになりました。よろしく御協力下さい。

お手数とは存じますが、同封のアンケート用紙に記入のうえ、12月5日までに、送付して下さいれば幸いです。福岡での年会にて集計結果を報告の予

定です。(編集幹事 柳田充弘)

◆組換え DNA 実験について

文部省組換え DNA 部会安全委員会において、下記の事項が了承されましたのでお知らせいたします。

1. 認定された宿主—ベクター系を DNA 供与体として、同じ宿主—ベクター系を使用して行う組換え DNA 実験は指針の規制から除外する。
2. 遺伝子操作協議会運営委員会より提案された *Saccharomyces cerevisiae* の実験室保存株を使用する宿主—ベクター系は、近く正式に認定される予定である。従って、今後上記を使用する実験計画申請に際しては様式 1 の申請書のみで足り、様式 2 の宿主ベクター系の認定申請書を添付する必要はない。
3. 遺伝子操作協議会より提案された *Bacillus subtilis* を使用する宿主—ベクター系については、現在検討中であるが承認される見通しであるので、上記を使用する実験計画申請書に添付する様式 2 の宿主—ベクター系の認定申請書の記述には「遺伝子操作協議会提案を参照」と書けば、その他の記述は省略してもかまわない。勿論、上記提案書に含まれていない安全性に関する新しい事項、実験等があれば、記述することは妨げない。

◆講演会のお知らせ

年会特別講演者として予定いたしました W. Gilbert 博士の関東地区における唯一の講演会を、日本生化学会関東支部、東京大学医科学研究所学友会との共催により、下記の通り開催いたします。

日 時 1979 年 12 月 13 日 (木) 午後 4 時
場 所 東京大学医科学研究所講堂
(東京都港区白金台 4-6-1)
演 者 Walter Gilbert (Harvard University)
演 題 Gene Structure and Control (仮題)